

目次

- 新しい会員事務局を迎えて
- WASLIのホームページが新しくなりました
- タイに於ける手話通訳の現状
- カナダ視覚言語通訳者協会 (AVLIC) の報告
- ナイジェリア手話通訳者協会 (ASLIN) の最新情報
- 会議報告:ろう者に支援を2010
- セルビア史上初の手話通訳サービス
- EFSLI2010:「相乗効果～ともに邁進しよう」
- ASLIA通訳指導者研修 (ITW):論文募集
- AVLIC2010会議
- 論文募集:通訳者通信
- 北米通訳サミット

新しい会員事務局を迎えて

WASLI理事会は、新しい会員事務局としてロビン・デムコを温かく迎えました。

以下は彼女の自己紹介です。

私はカナダ出身のろう者です。現在、カナダ・アルバータ州エドモントン市にある西カナダろう研究センターの事務官ならびに、アルバータ大学ろう研究科デビッド・ペイコフ学部長を務めています。



また、アサバスカ大学で修士課程の遠隔教育も受講します。

私は、主人と犬3匹と自分は犬だと思っている猫と暮らしています。暇があれば(あまりないけど)、上地流の空手道場に通っています。

2008年のWASLIセゴビア会議では資金援助プログラムのお手伝いをしましたが、この度WASLI会員事務局になりました。

ロビンの連絡先はこちら: membership@wasli.org

WASLIのホームページが新しくなりました

WASLIの新しいホームページをご紹介します。URL:www.wasli.orgにアクセスしてください。そして、お友達や仲間たちにも紹介してあげてください。サイト管理者デビッド・ウォルフエンデン、本当にありがとう。

WASLI
WORLD ASSOCIATION OF
SIGN LANGUAGE INTERPRETERS

SEARCH GO

Latest News: "Respectful to Reach the" in Helsinki 6-8 May 2013
[Home](#) | [About This Website](#) | [Documents](#) | [Mentoring](#) | [Guidance](#) | [FAQs](#) | [Contact Us](#)

Acknowledgments
Code of Ethics
Glossary
Links
News
Research & References
Testing Assessment and Accreditation
Training Establishments
WASLI Publications
Message from the President
WASLI Executive Board
WASLI History
World Federation of the Deaf
Joint Agreements
Deaf Interpreters

Committed to
the worldwide development
of sign language interpreting

Welcome to our New Website

"Welcome to this website, the Internet home of the World Association of Sign Language Interpreters (WASLI).

This is a new and exciting era for sign language interpreters, and WASLI, as a membership-led organisation, is proud to be at the forefront of developments. This website is designed to meet your needs for information and support, and to bring you up to date news of what is happening in the sign language interpreting profession.

We recognise that the situation of sign language interpreters is very different from country to country, but by sharing the knowledge and experience you have, you will strengthen and

Documents
Download and read the latest WASLI documents

Calendar

タイ王国



位置： 東南アジアに位置し、アンダマン海、タイ湾に隣接、ミャンマーの東南
人口： 65,998,436
首都： バンコク
言語： タイ語、英語(エリートの第二言語)、少数民族言葉及び各地の方言
GDP： \$8,100 (2009年現在)
輸出品： 織物、履物、水産物、米、ゴム、宝石、自動車、コンピュータ、電気製品
(情報源: <https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/th.html>)

タイに於ける手話通訳の現状

WASLI事務局長 ゼイン・ヘマ

タイ王国は東南アジアに位置し、アンダマン海、タイ湾に隣接し、ミャンマーの東南にあたります。統一政権となったタイ王国は、14世紀半ばに建国され、1939年までシャムと呼ばれていました。東南アジア諸国の中で、唯一ヨーロッパ統治を受けたことのないこの国は、大変美しく、国民は友好的で、食べ物が美味しく、熱帯気候です。世界中の人々がよく訪れる人気の場所でもあります。

現在、タイには手話通訳者養成を受けられるところは一カ所しかありません。それは首都バンコクにあるマヒドン大学のラチャスダ校です。2010年2月25日、WASLI事務局長がラチャスダ校を訪問し、通訳者講座の担当者と会談しました。



(左から)ソポン・チャイワタナクルワニ、校長ピムパ・カチョンダーム博士、スクシリ・ダンザナバニチ博士、

WASLI 事務局長

背景のロビーの壁面に描かれた人物は、
マハ・チャクリ・シリントーン王女殿下

ラチャスダ校について

ラチャスダ校は国王陛下の愛娘であられるマハ・チャクリ・シリントーン王女殿下の慈悲を受けて設立されました。妃殿下は障害者に対し長く関心を持ち、課題として取り組んでこられました。妃殿下は以前、児童分野に力を入れておられました。

妃殿下のご尽力により、障害者教育制度が中等教育を越えて拡大することが促進されました。1990年代半ば、妃殿下は障害者への関心を表明し、障害者教育及び育成プログラムの設立を呼び掛けました。

「障害者は適切な訓練を受ければ、障害者自身はもちろん社会にとっても、健常者と同様に生産的かつ有益に生きられる」がシリントーン王女殿下の信念です。妃殿下はこの信念に向けて献身してこられたため、マヒドン大学の(身体障害者)高等教育及び研究所を、お名前にちなんでラチャスダ校と名付けることをご快諾なさいました。



(左から)校長ピムパ・カチョンダーム博士、
WASLI 事務局長

ラチャスダ校の理念

ラチャスダ校はタイの成人障害者に高等教育を提供する学府です。ここでは、平等な協力関係という視点に立って、障害者の生活能力最大化に関する知識を発達させる研究を通し、教育及び学術的なサービスを提供しています。

学校関係者との会談

ラチャスダ校の校長であるピムパ・カチョンダーム博士、副校長のポムファン・プミプ博士、タイ手話通訳者兼講師兼通訳指導者のソポン・チャイワタナクルワニさん、講師を務めるタイ手話言語学者のスクシリ・ダンサナバニチ博士との会談を通して、興味深いことを知りました。実はこのラチャスダ校は、以前にも手話通訳養成を組み込んだことがあるそうです。当初は、単なる修了証を渡す程度の養成でした。それが学位レベルまで発展し、さらに2010年6月からは4年制の学士号課程が開講されるようです。また、ろうコミュニティや手話通訳者について、以下のような推計データをいただきました。

- ・ ろう者の人口: 300,000人(推計)

- ・ 手話通訳者人数: 300名 (151名は大学の手話通訳課程の卒業生、約40人は現在手話通訳を仕事としている)
- ・ 通訳教育・養成: 2010年4月から4年制の(タイ手話通訳)学士号課程が開講



(左から)WASLI事務局長、ポムファン・プミブ博士、ソポン・チャワタナクルワニ氏、スクシリ・ダンサナバニチ博士

手話通訳は専門分野として、他の国ほど確立されてはいないものの、発展しつつあります。手話通訳者の収入には差がありますが、公的機関の通訳者は月収6,840～10,000バーツ(100バーツは約3.09米ドル)です。時給制の場合、1時間200～500バーツと仕事内容によって異なり、要するに、専門性が高ければ時給も高くなります。

タイには全国手話通訳者協会(NATSI)があります。NATSIは2002年に設立されました。ソポン・チャワタナクルワニさんは初代会長を務め、現在は副会長として活躍されています。会員数は40名、委員会は11名で構成されています。

NATSIの目標

- ・ タイ手話通訳サービスとの協力



<https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/th.html>

- ・ 国内のタイ手話通訳者の代弁
- ・ 会員の知識や経験を高める
- ・ 手話通訳者に対する社会の認知度を高める
- ・ 学習と研究
- ・ 実習を通して、会員の通訳能力の管理と促進
- ・ 同じ志を持つ国内外の機関、協会、関連団体との連携

連絡先

ソポン・チャワタナクルワニ email: sopon88@hotmail.com

マヒドン大学ラチャスダ校のホームページ <http://www.rs.mahidol.ac.th/>

ラチャスダ校の関係者と会談し、タイの現状を知ることができうれしく思います。2010年6月に開講予定の学士課程のご成功を、WASLIを代表してお祈り申し上げます。また、手話通訳の全国的普及にむけて奮闘を開始されたNATSIIにも、ご成功をお祈り申し上げます。

ご協力いただいた方々

校長 ピムパ・カチョンダーム博士

副校長 ポムパン・プミプ博士

ソポン・チャワタナクルワニ氏、

スクシリ・ダンサナバナニチ博士

カナダ



面積: 9,984,670km²

人口: 33,487,208 (2009年7月現在)

首都: オタワ

言語: 英語(公用語) 58.8%、フランス語(公用語) 21.6%、その他19.6%(2006年国勢調査)

通貨: カナダドル(CAD)

GDP: \$38,400 (2009年現在)

(情報源: <https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/ca.html>)

カナダ視覚言語通訳者協会 (AVLIC)の会議報告



2010年3月、コリーン・フレール、バーブ・ミケル・ホットソン

カナダ視覚言語通訳者協会は、カナダを拠点とするアメリカ手話/英語通訳者のための全国的専門職団体です。現在の会員数は600名を超えています。協会の役割は、ほかのプロ通訳者協会と同様、通訳者の資質向上と資格認定により、手話通訳の専門性を高めることです。また、会員と一般の方向けに職業上の行為に対する倫理要綱とガイドライン(CoEGPC)を配布し、争議の解決策を改善します。

上述のCoEGPCは、世界各国の通訳者協会が独自の倫理要綱を作成する時の参考資料として使われています。要綱の目的は、我々の会員と、会員が提供する通訳サービスを利用する一般の方のための手引きとなることです。これによって、通訳サービスのレベルが保証されます。要綱に記載されている5つの原則は、全国的基準を維持するのに不可欠であり、すべてが同等の重みと重要性を持ちます。5つの原則は以下の通りです。プロとしての説明責任、プロとしての能力、非差別、品格ある職業上の人間関係、誠実な職務実践。現在使用されているCoEGPCは2000年7月に更新され、2008年7月AVLICがアメリカ手話版の動画を制作し、協会のホームページ(www.avlic.ca)の資料コーナーにアップしました。

さらに、CoEGPCを補足するための「争議解決プロセス(DRP)」が、2004年に協会で採択されました。その目的は、通訳分野に関する説明責任の明確化です。CoEGPCに対する違反が疑われる場合、AVLICは、対象となる通訳者に対し訴える側がきちんとした手続きを踏まえ、協力的かつ敬意を持った態度で解決を試みてほしいと考えます。トラブル解決策として、DRPは3段階の対処法を提唱します。レベル1: 議論および/または相談。レベル2: 調停。レベル3: 不服申し立て。もちろん多くのケースは、AVLICが養成する内部仲裁員(IRP)によって、レベル1で解決されると期待されています。レベル2に入ると、倫理面や職業上の行為に関する争議の解決を訓練されたプロの仲裁員が雇われます。レベル1と2がうまく行かなかった場合、最後の手段としてレベル3の不服申し立てが生じます。その場合、外部の専門家である裁定官に任せ、この段階における全手続きを任せるほかありません。2008年7月、AVLICはこのDRPをアメリカ手話に翻訳しホームページ(www.avlic.ca)のサービスコーナーに載せました。

サービス利用者およびお互いに対する説明責任を果たすために、CoEGPCが作成されDRPが付加されたにも関わらず、AVLICの会員たちは依然として通訳に関わる様々なトラブルに直面しています。その中で、最も身近かつ無視できない課題は、教育現場でのろう児に対す

る通訳です。カナダの校区では、手話通訳を探す時、通訳者の技術を十分に把握していないことがしばしばあります。そのため、ろう児が教育にアクセスしやすくするという名目で、無資格もしくはレベルの低い手話通訳を雇っています。ご存知のように、通訳は専門技能であるため、子どもはもちろん、家族や他の関係者たちは、雇った通訳が未熟であることに気づいていません。学校で通訳をしている会員たちは雇用基準の設定を求められ、教育通訳問題委員会(EIIC)が苦労して彼らの支援をしています。先日、教育現場で資格のある通訳者を雇用し、学区に対し通訳について教育する必要性について、EIICがAVLICを代表して10県3地域の教育省に対し訴えました。前向きな反響を得たとはいえ、まだやるべきことが残されています。

今回の推進活動によりAVLIC会員であることを雇用の条件とする雇用者が増え、関係者全体にとって良い結果です。雇用者側は、雇用している通訳者は皆通訳課程を修了していると確信でき、一方、利用者は、訓練を受けた通訳者の通訳を受け、AVLICは会員数



<https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/ca.html>

が増えました。まさに一石三鳥です。AVLICは、通訳者と契約・雇用するカナダ政府省庁や国内各機関ともこうした緊密な関係を築こうと引き続き取り組みます。2010年7月にオンタリオ州オタワで開催予定の総会(www.avlic2010.com)で、新しい国内戦略として大変重要な発表となるでしょう。このプランは協会の使命を見直すことを提案し、新たな方向性と本質的価値を提言しています。

皆さんもカナダの最新動向を見逃さないよう随時私たちのホームページをチェックしてください。そして、お気軽にお問い合わせください。avlic@avlic.ca

ナイジェリア



位置: 西アフリカ、ギニア湾に面し、ベニンとカメルーンに隣接
面積: 923,768 km²

人口： 149,229,090

首都： アブジャ

言語： 英語(公用語)、ハウサ語、ヨルバ語、イグボ(イーボ)語、フラニ語

GDP： US\$2,400 (2009年現在)

(情報源 <https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/ni.html>)

ナイジェリア手話通訳者協会(ASLIN)の最新情報

ナイジェリア全国ろう者協会(NNAD)は、10月に2009年総会を開催しました。ナイジェリアのろう者がクロスリバー州都カラバル市に集まり、国内のろう者の人権問題に取り組みました。この総会は、国際社会を舞台に開催されたため、通訳者も招きました。ナイジェリアのNNADの本部幹部の研修が、総会と同時開催されました。通訳者問題もこの研修に含まれたため、新たな一步を踏み出したと言えます。今後は、ナイジェリアのろうコミュニティのパートナーとして取り組んでいきたいと思えます。ろう者、通訳者ともに互いを尊重し合い理解が深まって来たため、来る2010年には、NNADとASLINの合意に関する覚書が完成することを願います。



<https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/ni.html>

2009年後半、ASLINはアブジャの海外ボランティアサービス(VSO)の教育課程マネージャー、リズ・グプタさんと会談しました。ASLINの夢の実現方法について語り合いました。リズは、ナイジェリアに2年間滞在していた盲ろう女性クリスティン・ロシャート(愛称ココ)の上司です。私たちはココから、多くのインスピレーションを得ました。ASLINが法人事業委員会に登録する際には、彼女から50,000ナイラの寄付をいただきました。その上、ビデオカメラと手話の本も寄付され、また「ナイジェリアの手話通訳の専門性について」と題して3日間の通訳養成講座も主催しました。ナイジェリアの権利擁護事業にも大きな存在です。彼女は最近故郷に戻られたそうです。

リズ・グプタとASLINの会談は1時間半に及びました。VSOとの1年間の共同活動を振り返り、リズは協会が目標を自覚して発展したことを称賛しました。独自の活動計画を立ち上げ、協会の発展につながる方向性及び目標を明確するよう励まされました。会談の終りには、VSO

に私たちの要望を訴えました。それは、協会幹部の能力開発研修や組織管理能力を整えていただくことです。これに対してリズは、ボランティアに連絡を入れると約束してくれました。長きに渡り支援をしてくださったリズに感謝します。彼女の今後のご活躍とご成功をお祈り申し上げます。

最後に、NNADは先日、世界ろう連盟が主催する1週間の研修会を開催しました。この研修でナイジェリアのろうコミュニティがろう者の人権問題を学び、ナイジェリアのろう者にとってより良い人生への道が開かれました。また、NNADの支部であるアブジャろう者協会を対象とする1日の公開講座にも、ASLINは出席しました。この講座を通して、様々なことが分かりました。講師はルーシー・アパとキャロライン・コンロン(両者ともWFD代表)。アフリカ中部と西部では、ろう者の人権やろうあ問題に対する意識が最も低い水準です。この地域の国々には、プロの通訳者が数人か全くいないため、ろうコミュニティと手話通訳者にとって、大きな課題です。通訳者不足と片付けてはなりません。問題は、通訳者にもろうコミュニティにも訓練の場がないことです。ぜひWFDにも驚くべき事実に向け、WASLIとともにこの地域の方々に研修会や奨学金を与えることを検討してほしいものです。



アブジャろう者協会及び手話通訳者向け
セミナーでの
ASLIN 会員と WFD 代表(キャロライン氏)



公開講座でのアブジャろう者協会及び WFD 代表

「ろう者に支援を2010」会議報告

タニア・デビッドソン、ニュージーランド

「第7回ろう者に支援を」オンライン会議は2010年2月3～6日に開催されました。オンライン会議に参加するのは初めてだったので、最初は緊張しました。この報告を通して、オンライン会議の仕組みを紹介し、会員がもっと積極的に参加することができたらうれしいです。

会議の参加は最初から最後までスムーズでした。参加手続きは簡単かつ速い。最新技術とダイレクト・ラーン・サービス社の素晴らしいセットアップにより、世界各地から334名の参加者は、場所や時間を気にせずログインすることができました。

参加者には広範な資料に加え、参加者リスト、自分の所在地を記し他の参加者の所在地が見られる携帯マップ、ガイドツアー、よくある質問一覧、誰が同じ講演に「出席」しているかが一目で分かる表、他の参加者に個人メッセージが送れる簡易メール機能、議論や意見交換コーナー、社交用喫茶コーナー（もちろん自前）が、書類は見ずともすべて提供されます。

会議の1週間前にパスワードをいただきました。このパスワードを使って、素早く2つの基調講演や11の発表、手話動画にアクセスすることができました。また、最も興味のある会議を見逃すことなく、前もって時間を計算することもできました。

その中で感動したのは、1番目の基調講演でした。アメリカのケリー・マーフィ氏の「言語の機能および通訳者の戦略としての冒とく」には、参加者から526通ものメッセージが届いたそうです。予め参加する会議を考えないと、莫大な文書を読み込むのは大変なので要注意です。

今年の主要会議テーマは以下の通りです。

- ・ 専門的な場面における通訳行為
- ・ 通訳者：副次的影響及び擬似経験トラウマ
- ・ 効果的通訳：礼儀・面子・文化

これらの講演は精神の糧となり、各会議の議論は見聞を広げてくれました。難解かつ有益、圧倒されかつ身の引き締まるもの、励みになりかつ魅力あるもの、うまく巧みな発表が行われました。他にも、とっぴなもの、意見の割れるもの、ユーモラスなもの。また、私の理解を超えて不快だったり不可解なもの、普通の会議とはひと味違った内容でした。

会議参加者が持ち寄った知識の深さと広さが、この会議の一番の驚きでもあり最大の楽しみでもありました。この会議で改めて誰しも職務上の経験を持ち、この会議は言わばその経験

を収めたアルバムを互いにのぞき見る機会だと認識しました。

多くの情報と、議論での多くのやり取り、多くの処理と個々の経験や理解の比較！ありがたいことに、会議後4週間、見逃した会議内容をネットで見る事ができてよかったです。理論上、すべての講演に参加することは不可能ではありません。

場所を問わず、自宅からも、仲間たちと知り合い、接することができるのはめったにない楽しみです。付け加えたいのは、議論に参加する義務はありません。「読むだけ」の参加者でも大歓迎です。読み切れないほどの情報を楽しむことができれば、知識基盤を広げ、この業界の共通課題に対するグローバルな見識を養いたい人には、この会議をお勧めします。

(この報告はニュージーランド手話通訳者協会の会報に掲載されたものです。詳しくは www.slianz.org.nz をご覧ください。)

セルビア



位置: 東南ヨーロッパ、マセドニアとハンガリーに隣接

面積: 77,474km²

人口: 7,379,339

首都: ベオグラード

言語: セルビア語(公用語)88.3%、ハンガリー語3.8%、ボスニア語1.8%、
ロマ語(ジプシー)1.1%、その他4.1%、不明0.9% (2002年人口調査より)

GDP: \$ 10,400 (2009年現在)

(情報源 <https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/ri.html>)

セルビア史上初の 手話通訳サービス

ヴェラ・ジョヴァノヴチとデサンカ・ジジチ



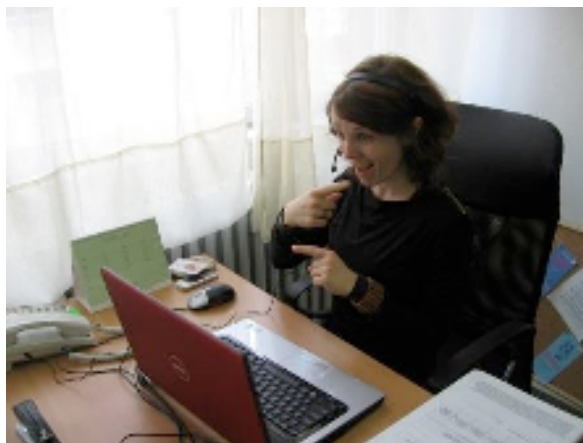
<https://www.cia.gov/library/publications/the-worldfactbook/geos/ri.html>

吉報です。2009年12月3日ベオグラードでセルビア初の手話通訳制度が誕生しました。

ベオグラード市内では、ろう者や難聴者向けに手話通訳サービスが無料で提供されます。分野は司法、警察、保健、行政や機関、法的文書作成手続き(誓約書、契約書など)、雇用、個人のニーズや自立の支援(公的サービスの利用、苦情、銀行、学校の保護者面談、結婚、葬儀、様々な書類の記入、私的書簡の作成や翻訳、電話、遠隔通訳など)。サービスの対象は、住民登録地と関係なく、ベオグラード市内ならどなたでも受けられます。

この企画は、ベオグラードろう者組織とセルビア労働社会政策省の障害者保護局の試行運用です。

事業の目的は、ろう者と難聴者に無料で手話通訳を提供し、様々なデータ収集・分析を行うことです。例えば、ろうコミュニティの通訳ニーズ、需要の多い通訳場面、こうした公的サービスに必要とされる歳出です。



サービスの行方は、試行運用の結果とそ
の中で行われる実態調査により大いに左
右されます。ですから、プラスな体験や参
考となる成功例がありましたら、ぜひ情報
を教えてください。現在、セルビア政府が手
話の使用に関する法案を立案中ですので、
こうした公的サービスを法的に規定する最
も適切な方法を見出すことが必要です。



私たちは、セルビア語とセルビア手話で、
このサービスに関する必要な情報のパンフ
レットとビデオを制作しました。また、ベオ
グラードのろう者クラブに出向いて様々な
話し合いに参加し、ろうコミュニティにこの
サービスについて知らせました。さらに、サ
ービスの試行運用と同時に行われる実態
調査について、国の担当省と何度も打ち合
わせを行ってきました。



最初の3ヶ月間ですでに110名のろう者がこのサービスを利用し、その後毎日、利用者は増える一方です。利用者の声を聞くと、今のところ利用者の期待やニーズにきちんと応えられており、日々新たな顧客の獲得が期待できそうです。現在のところ、このサービスに関わっている常勤の通訳者は2名、登録通訳者は3名です。

試行運用は2010年5月で打ち切られます。このサービスを継続させ、法的根拠に基づく恒久的な公的政策に組み込まれるよう、私たちは全力を尽くします。

皆様のご支援が私たちをこの成功へと導いてくれました。心より感謝します。

特にこの場を借りて、コリン・アレン氏にお礼申し上げます。この数年間、アレン氏は私たちの友人であり、良き助言者であり、多大な支援をいただきました。また、ハンガリーの全国手話通訳者協会(JOSZ)の方々にも、お礼を申し上げたいと思います。スイスでのefslい会議2007で、私たちの発表を聞いてハンガリーの方々は、組織立って確立された公的資金による通訳サービスを持たないセルビアや各国の仲間に、知恵や経験を共有しようと申し出てくれました。ハンガリーの首都ブダペストで数日間に渡り、素晴らしい指導をしてくださいました。このゴールへの大きな一歩を踏み出せたのは、彼らの多大な支援のお陰です。

EFSLI 2010 「相乗効果～ともに邁進しよう」

2010年9月10～12日

2010年、efslい年次総会と会議を開催するために、スコットランドのグラスゴーに戻ってきます。



スコットランド手話通訳者協会(SASLI)は、グラスゴーという小さいけれどとても美しい街にefslいの皆さんを迎えることができ、光栄です。今回の会議は、グラスゴー中心部にあるラディソンSASホテルで開催されます。駅から徒歩5分以内の便利なところです。周辺には、高級ホテルから格安なホステルまで、様々な宿泊施設があります。

会議テーマは「相乗効果～ともに邁進しよう」。手話通訳の専門性の発展を振り返ります。来るべき課題や変化に向けて、我々は準備が整っているでしょうか。サービス提供者と利用者は、通訳者と指導者の目標や価値観や目標を理解しているでしょうか。

この会議はミクロレベルからマクロレベルまで欠けた部分を掘り出し、変化し続けるヨーロッパで活躍する手話通訳者なら必ず身につけるべき技術及び知識の向上を図るものです。

有益かつ刺激的な内容を提供するだけでなく、参加者一人ひとりが楽しめる会議になると保証します。ダンスシューズを持参し、ハギスを食べ、ウィスキーで乾杯しましょう！

それでは、2010年グラスゴーでお会いしましょう。

お問い合わせは ゴードン・チャプマンまで(enquiries@efsli2010.org.uk)

会議の公式ホームページ: <http://www.efsli2010.org.uk/>



ASLIA～オーストラリア手話通訳者協会本部 ASLIA通訳指導者研修(ITW)の論文募集

2010年8月30日(月)～31日(火) オーストラリア・ブリズベン

2010年8月30日(月)と31日(火)にオーストラリア・ブリズベンで開催予定の第6回ASLIA全国通訳指導者研修(ITW)は、通訳者を教育・養成する指導者が一堂に会し、情報交換や技術交流、資料入手する場を提供します。ITWは、ASLIA全国集会の直後に開催され、出席者は主に国内外の手話通訳講師や指導者、通訳研究者です。ITWは南半球で定期的に集まる唯一の機会です。ここで皆さんは情報や戦略を交換し、この分野の発展について話し合い、通訳養成や教育にかかわる国内外の仲間と人脈を作ります。

論文要旨： 良い教育や学習を促進させる革新的取り組みや、通訳養成指導者が見出した独自の手法に関する発表を求めています。通訳実習生、認定通訳者やろうりレー通訳者を育成するための活動や最新手法に関する論文も歓迎です。以下はテーマとなり得る項目ですが、これ以外でも結構です。

- ・ 学生の実力向上を支える取り組み

- ・ 独自の養成事業及び教材
- ・ 評価及び基準設定
- ・ 手話通訳の通信教育
- ・ 手話教室と通訳者養成講座の隙間を埋める
- ・ 通訳養成に関する研究
- ・ 指導者育成プログラム
- ・ テクノロジーを活用した指導方法

発表方法は、a) 40分の講義形式(発表30分、質疑応答10分)、あるいはb) 実践的な研修形式(1時間半から3時間)。論文要旨に発表形式を明記してください。研修形式の場合、所要時間を1時間半以上3時間以内で指定してください。発表は、オーストラリア手話または英語でお願いします。

英語での論文要旨は、ワードで300語以内にまとめてください。または、オーストラリア手話で3分以内の動画(DVD形式)でも結構です。申し込みは、論文要旨を添えて、発表のタイトル、氏名と連絡先、所属(ある場合)、希望する使用言語、発表方法(講義か研修)、発表者の経歴を1人当たり100語以内にまとめた紹介文を提出してください。

ワードで作成した要旨のファイルはitn@aslia.com.auにメールしてください。オーストラリア手話による要旨のDVDは「ITW2010, PO Box 189, Haberfield NSW 2045, Australia」まで郵送してください。

締め切り: 2010年5月8日必着。

審査結果: 2010年5月24日までにメールで通知します。

資料提出: 発表決定者は、通訳準備のため、2010年7月24日までに資料全文やパワーポイントファイルを提出してください。

問合せ: ITW2010に関する質問はカレン・ボンテンポまで itn@aslia.com.au

2010年AVLIC会議

2010年7月6～10日 カナダ・オタワ

会議のテーマを「小さな一歩、大きな変化」とし、私たちや関係者の専門性を育み、社会援助を高めるための一見小さな一歩を紹介いたします。このような足跡は、気づかれぬままに時と共に蓄積され、社会に重大な変化をもたらすほど全ての人に影響を及ぼします。

オタワ市の美しい中心街にあるオタワ・マリオット・ホテルは、カナダの議事堂や国立博物館、美術館、有名なバイワードマーケットに程近く、私たちを暖かく迎え、最高の施設を提供してくれます。

ホームページをご覧のうえ、ご質問があればご連絡ください。 <http://www.avlic2010.ca/>

2010年AVLIC会議inオタワでお会いしましょう。

2010年AVLIC会議議長 キャサリン・メイヤ、ロクサーヌ・ホワイティング、ポーラ・バス

論文募集～通訳者通信

テレビ通訳の特集号

トリエステ大学(イタリア)「言語科学・通訳・翻訳」学部

編集者:フランチェスコ・ストラニエロ・セルジオ、カテリーナ・ファルボ

テレビ通訳(TI)は、字幕や吹き替え等の視聴覚翻訳や、医療機関、入国管理局、法廷等の対面通訳と言われる場面と比べ、まだまだ未開発の領域です。このTI特集号では、最新研究結果をお届けし、幅広い分野の研究者、通訳者、報道関係者にTIに対する様々な視点を発表する場を提供します。最終的には、この通訳方式における類似点・相違点に対する理解を深めることを目指します。

TIに関する概念的、理論的、方法論的、実践的な提言をお寄せ下さい。独自の研究に基づく英語かフランス語で書かれたものに限ります。他の雑誌や学会で発表されたものや申請中のものは認められません。提出された原稿は審査されます。

下記が関心のあるテーマですが、これ以外でも構いません。

- ・ テレビ通訳vs会議通訳等他の通訳
- ・ 通訳者の能力分析
- ・ テレビ通訳資料集の作成
- ・ 通訳様式(同時通訳、逐次通訳、混合形態)及びメディアジャンル(トークショー、ニュース、マスコミイベントなど)
- ・ テレビ通訳における独白形式vs対話形式

- ・ テレビ通訳の相互作用面(通訳の仲介機能、役割、立場、画面上と画面外の出演者の関係など)
- ・ ジャーナリストとしての通訳者、通訳者としてのジャーナリスト
- ・ テレビ通訳vsニュース報道、解説、編集
- ・ テレビという通訳雇用主(市場の需要、言語数、採用条件、労働条件、倫理綱領など)
- ・ 通訳者の職業的立場を形作るテレビの役割
- ・ 質の評価と利用者の期待(報道関係者の視点を含む)
- ・ 論文要旨は350~500語以内でワード形式で作成し、メールでこちらまで送信して下さい。
interpretersnewsletter.2011@units.it (件名は「ABSTRACT TI 2011」)

今後の日程:

- ・ 論文要旨の提出:2010年9月15日
- ・ 採用通知:2010年9月30日
- ・ 発表論文の提出締め切り:2011年5月15日
- ・ 発行:2011年12月

北米通訳サミット

ワシントン,D.C.

第1回北米通訳サミットが2010年6月17日にワシントンDCで開催されます。目的は、通訳業界の幅広い分野(コミュニティ、会議、司法、医療、軍事、手話など)のリーダーや専門家が一堂に会し、この業界の現状を評価し展望を模索することです。専門家団体、学者、政府関係者、民間の方々の参加が見込まれます。

詳細はwww.interpretamerica.netでご覧いただけます。通訳養成の先頭に立つ教育機関である、モンテレイ研究所及びアリゾナ大学国立通訳センターが2大スポンサーとなっています。

このサミットはいわゆる「学術的」なものではなく、通訳が実践されている通訳市場と法的枠組みに関する興味深い調査や、実践・養成・認定の基準に関する発表が行われます。通訳業界が成熟しているアメリカだからこそ、学界は重要な存在です。

参加申込受付は1月15日に始まり、定員に達することが予想されます。サミットは業界の人脈

作りや対話の場として設けられ、全体会形式で発表するため、参加人数に限りがあります。特に関係者の層が薄いのは手話通訳の分野です。私たちが探しているような経歴を持っている仲間に参加していただければ幸いです。音声言語通訳者にとって手話通訳者から学ぶことは多いはずですが、ぜひご参加下さい。

ご質問はお気軽にバリー・スローターまでご連絡下さい。barry.olsen@miis.edu

サミットのホームページ: www.interpretamerica.net

会報に投稿してください

あなたの国の通訳に関するニュースを世界に発信しましょう！

投稿したい方はnewsletter@wasli.orgにご連絡ください。

次の会報の投稿締め切りは2010年5月17日(月)です。

重要事項

この会報の記事が必ずしも世界手話通訳者協会の考えを表しているとは限りません。WASLI会報は、編者がWASLI理事会及び外部からの寄稿者と共に作成しています。WASLIは発信した情報の信頼性を確保するように努めます。WASLIは発信された内容の正確性や意見についての責任は一切負いません。出展さえ明らかにすれば、発信された情報を他の場所でも使用することができます。WASLIの公的な写真の使用許可申請及びメールアドレスの変更はsecretary@wasli.orgまでご連絡ください。

WASLI理事会

役員: リズ・スコット・ギブソン(会長): ファン・ドウルエッタ(副会長): ゼイン・ヘマ(事務局長):
ダニエル・バーチ(会計)

地域代表: 市川恵美子(アジア): ジョージ・メジャー(南洋州オセアニア): フィレモン・アカッチ
(アフリカ公式代表): ジャック・オウィティ(アフリカ臨時代表): セルマン・ホティ(バルカン): マ
ルコ・ナルディ(ヨーロッパ): ホセ・ルイス・プリエバ・パディラ(ラテンアメリカ): デブ・ラッセル
(北米): アンナ・コマロワ(ロシア・コーカサス・中央アジア)

WASLIボランティア

WASLIホームページ管理者: デビッド・ウォルフエンデン

WASLI会員事務局: ロビン・デムコ

WASLI翻訳コーディネーター: ラファエル・トレビノ(およびボランティア)

会報校正：パトリック・ガラツソ、アラン・ウェンツ

教育養成実務グループボランティア

認定評価実務グループボランティア